

# おれんじニュース

No284

2013年11月号



9月13日(金) 筋湯温泉の峠からまずは一目山をめざし、涌蓋山まで縦走。まだみな元気。

今月号の記事	一目山・みそこぶし山・女岳・涌蓋山、鷹ノ巣山、登山フェスタ、経ヶ岳
--------	-----------------------------------

★集会・委員会のお知らせ★ 山行の一步は集会参加から				
	2013年11月	2013年12月	時間	場所
運営委員会	13日(水)	11日(水)	19:00~21:30	西諫早公民館
全体集会	27日(水)	25日(水)	19:00~21:30	西諫早公民館

## 2013/11 月の山行



部	技術研修部	山行部	自然保護部	ひまわり
月・日	11/2(土)~3(日)	11/9(土)	11/17(日)	11/22(金)
山名(行事)	2日・えびの岳 3日・韓国岳、大浪池 OR 炭化木の谷	黒 峰	琴の尾岳	古処山
地 図	霧島温泉・韓国岳	緑川・鞍岡	大村	甘木
集合場所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	西諫早駅 8:10	西諫早駅 7:00
難 易 度	初級&中級	初級	初級	初級&中級
帰着時間	11/3 20:00	20:00	16:00	20:00
歩行時間	3h/5h	2 h	3 h	4 h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	公共交通機関	マイカー
宿泊施設	みやま荘	日帰り	日帰り	日帰り
温 泉	有り	有り	?	?
参加費	16,000 円	5,000 円	交通費のみ	3,000 円
申込期限	定員になり次第	定員になり次第	随時	定員になり次第
集 約	佐原	田中	中里	林
備 考	佐原さんの米寿を祝福する登山です。	比較的に短時間で登れるブナ林の奥山。紅葉もありでしょう。	ミカン狩りができるかもしれません。	秋を見つけに秋月に行ってみましょう。秋月の歴史に触れてみましょう
感想文提出	11/13	11/19	11/27	12/2

### 技術研修部だより(セルフレスキュー)

10月26日(土)                      J R 西諫早駅    9:30 集合  
 11月16日(土)                      "                      "  
 12月21日(土)                      "                      "

\*新ルペルソの使用法

\*ユマール登攀

\*救助器具の使用法

## 2013/12 月の山行



部	技術研修部	山行部	自然保護部	ひまわり
月・日	12/1(日)	12/8(日)	12/10(火)	12/13(金)
山名(行事)	求菩提山(782m)	郡岳～経ヶ岳	井樋ノ尾岳	小浜～唐比
地 図	下河内	多良岳	長崎東北部	肥前小浜
集合場所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	西諫早駅 6:00	アクロスプラザ 8:30	諫早駅県営バスターミナル 雲仙行き 8:50
難易度	初級		初級	初級
帰着時間	20:00	20:00	17:00	17:00
歩行時間	3h	6h	4h	5h
交通手段	マイクロバス	マイカー		公共交通機関
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温泉	ト仙の郷	?	?	有り
参加費	5,000 円	1,000 円		交通費のみ
申込期限	定員になり次第	随時	随時	随時
集約	佐原	田中	中里	林
備考	修験の山です。 厳しい冬に尋ね ましょう	訓練登山です	地元の山を知ろう	冬の海岸の道をしてく てく歩きます。 結構歩きますよ。
感想文提出	12/10	12/18	12/20	12/23

### \*九プロ「元気の出る集会」

日時：11月23日(土)～24日(日)

場所：大分県豊後高田市 香々地青少年の家

費用：宿泊費(朝、夕食込み)3500円 他(交通費等)

23日予定 山岳信仰の歴史・スライドと講演

分散会 ①山々の花・スライド上映 ②セルフレスキュー ③プラネタリウムで星座の学習  
④中高年の為のストレッチ体操や気を付けること

各県のお国自慢・推薦するオラが山 など

24日予定 ①文殊山 ②両子山 ③仁王様鑑賞の寺巡りとお寺の精進料理

④無名の橋樁堂のハイキング ⑤鋸山津波戸山(岩場あり)

(参加申込は 事務局 兵庫へお願いします)

## 2013年9月/10月の山行報告



9月13日

### 一目山・みそこぶし山・女岳・湧蓋山

(参加者) 小山、兵庫、工藤、佐原、林、田中ヒ、山口、山下、林、星子、吉川、金丸 (12名)

(行程) 西諫早駅 6:35～金立 SA～玖珠 SA～九重 IC 8:50～筋湯登山 9:45～出発 10:00～  
一目山 10:20～みそこぶし山 11:50～女岳 13:35～湧蓋山 14:00～ひぜん湯登山口  
16:10 着～九重の湯 (見晴らしの湯)～帰諫 17:25～西諫早駅着 19:50

(感想)

初秋を満喫！ 天気に恵まれて一目山を皮切りに湧蓋山まで、四山を登り切り、その達成感を味わった一日だった。予定通り西諫早駅を出発。今日の参加者には新人の方もいらっしゃるという事でバスの中では、自己紹介があった。

この山行のリーダーである小山さんも意気揚々と思いの歌を披露された。

3時間程で筋湯登山口へ到着。目の前に小高い一目山が見えた。山肌の緑がやさしく美しかった。ここでまず、兵庫さんから地図の見かたの指導を受けた。このところの地図の説明で私も習得できたような？ 登山準備を終え、山下さんを先頭に出発。やや急登ではあったが、ゆっくりと登ると20分程で一目山山頂に着いた。



感想文の構想を考えているKさん

眺めが良かった。頂上からは、これから目指す三連山の山々も見えた。最終目的の湧蓋山の遠い事！ 遠い事！ どうなる事やらと思った。そして、次のみそこぶし山へ。道中には、ハギ、ママコナ、リンドウにシャジン、フウロにマツムシソウ、ワレモコウ・・・と数々の花が見られ、また風にゆれる若スキに初秋を感じた。山から山へ歩く事2時間。みそこぶし山山頂へ到着。疲れた～(>\_<) 山頂から下り広々としたミソコブシ分岐に出た。そこで次の女岳の登山口がわかった所で昼食となった。ホッとした。エネルギーを補給して元気を取り戻し、また三つ目の女岳を目指して出発。しかし遠い(´ェ`\*)トー伯。そんなに危なくはないけれど急登続きで、まだかまだかの思いで登る。そして女岳頂上へ辿り着く。眺めが

良い。今回の連山は山頂から見下ろせば登って来た道が確認出来、その距離の長さに達成感を感じつつ登る事が出来た。女岳の頂上からは湧蓋山が悠々とそびえて見えた。登りたい！皆さんかなり疲れた様子だったが、最終目的の湧蓋山を目指し、ほとんどの人が頂上をめざした。山頂まで、かなり急登ではあったが、先頭は 20 分程で登り終えた。バンザーイ！本望達成！湧蓋山頂上は広々としていてここにもリンドウ、マツムシソウ・・が咲いていて疲れを癒してくれた。眺望も良く、九重連峰（平治岳・三俣山・・）が見渡せた。いつものように記念写真もバッチリ！帰路は湧蓋越からミソコブシ分岐、ひぜん湯の方へ下り全員無事にバスへ。登山開始から 6 時間の行程だった。よく歩けたものだと満足感にひたる。インター近くの九重の湯（見晴らしの湯）で汗を流し、ビールで喉を潤し、皆さんの感想など聞きながら帰路。西諫早駅 19:50 着。この企画また援護くださった方々ありがとうございました。皆様お疲れさまでした。  
(金丸直美 記)

9 月 22 日(日)

### 鷹ノ巣山・英彦山系

(参加者) 川原、中須賀、間ノ瀬、松岡、鎗水、野中、佐原、林(和)、國分、山口、森、中野、下釜、本田、高森、岩永、星子、林(孝)、山下、田中(北九州あしび) (20 名)

(行程) 西諫早駅 6:30～太刀洗(國分さん合流)～杷木 IC～別所駐車場 9:15(田中さん合流)～薬師峠 9:45～出発～一ノ岳 9:22～二ノ岳 11:15～三ノ岳 1:04～野峠へ向かう 1:50

(感想)

鷹巣山はどんな山か予備知識もなく参加する。

西諫早駅 6:30 マイクロバスにて出発。

太刀洗で国分さん、別所駐車場で田中さん合流。

連休で車が多い。

薬師峠前でパトカー、何かかと思いきや自転車競技らしい。

今の流行らしく、この前長崎のオランダ村でもあった。

峠では出発前に山下さんの地図の見方の講習あり 9:45。皆さん真剣に勉強し 3 班に別れ出発。



二班、二ノ岳に登頂・文化人の班？

健脚班はすでに見えなくなり、われら 2 班は文化部等と勝手連でおしゃべり進行。

3 班はのんびり笑顔で後に続き 里山とは違った自然林の中このコースは登山者も少ないためか踏み跡もかすかで落ち葉を敷き詰めた登山道であった。

杉林は大木で英彦山に準じているようだ。

一ノ岳はすんなり登り 10:30。湿度と暑さのせいで汗がひどく二ノ岳との鞍部では冷たい風が気持ちよく感じられた。頂上の岩の上には 3 人ほど写真ポーズをとり絵になるさ



までであった。

三の岳への途中食事タイム 12:00、登山者 1 人通る。

三ノ岳は岩場が険しくロープが多くつながり 団体が登るには狭く厳しく下山にはハーネスとロープをして安全を期した。1:50 これからの縦走路は踏み跡がなく赤いテープを探しながら落ち葉の滑る中を進んだ。

尾根筋になると岩場の細道が表われ 馴れない人には緊張を強いる。

野峠まで 1 時間かかりそうで岩場の細い所で小休止。

ここで標識の林道への矢印につられ直進し沢へと下ってしまった、

地図の確認で野峠への登り返しも大変で林道を集落まで電話が通じる場所へ進む。4:00 小 1 時間で民家が見え電話するも通じなく 民家に頼み込み車を出してもらいバスを迎えに行き やっとバスへ乗ることが出来た。温泉は我慢することでたそがれの中帰路についた。 杷木 IC7:20 金立 P8:00 諫早着 9:10

( 間ノ瀬 記)

9 月 28 日・29 日

### 長崎県連主催 雲仙登山フェスタ

(参加者) 28,29 日 川原、鎗水、兵庫、松岡、工藤、中須賀、佐原、山下

29 日 下釜、金丸(勝)、金丸(直)、林田、高森、田中(静)、林(孝)、中野、田中(英史)

オレンジの参加者(17 名)

(報 告)

9/28,29 県下より 67 名が参加し、第 13 回登山フェスタが島原市の舞岳山荘で開催された。

桃下大先生には「諫早湾の干潟に見られる植物と調整池の昆虫」について講演願った。

諫早湾干拓事業潮受堤防排水門の開門が喫緊の政治課題となっているが、講演内容は長年にわたる自然観察と科学的な調査からどう判断すべきか、示唆を与えるものであった。マスコミなどもっとこのような内容を深く、公平に伝えるべきである。

夕食とフリーの交流会では、各会が腕をふるった食事とアルコールで遅くまで歌や話が弾んだ。

交流集会では各会の夏山山行の DVD が紹介された。なじみのある山や人が映し出され、みんなにやにや顔。異色は温泉地のハワイアンフェスタで演奏した DVD。決してうまくはないが、器用で愛嬌ある演奏にはみな喝采、来年も期待したいものである。

29 日は 4 コースに分かれて登山、岩登り、自然観察に出かけた。あいにく小雨が降り出し、限られた条件の中で各リーダーと参加者はうまく対処した。





出発直前までコース変更などあったものの、参加者の協力とスタッフの尽力のおかげで特に混乱も事故もなく比較的自由的な雰囲気の中で終了した。

オレンジからも多くの方が参加いただき、感謝いたします。

(鎗水 記)

## 29日(日) 自然観察コース

参加者は講師の塩田さん(長崎カルチャー会長)を含めオレンジ3、あゆみ6、カルチャー3、東部1の13名で、田代原駐車場を8時50分出発。本日のコースは田代原キャンプ場から牧場の中を通り東端まで行き、九千部裾の遊歩道を駐車場まで戻る周回コースが予定されている。しかし天候は霧雨模様ですっきりしない。

吾妻岳と九千部岳は尾根続きであったが、千々石断層と呼ばれる活断層により東西に割れ目が出来、これが南北に引っ張られて広がり、田代原盆地が形成された。という地質学から始まり、草花、樹木の名称、特徴はもちろん、虫の声、小鳥のさえずりなどにも造詣が深い塩田講師の、ためになる話を興味深く聞きながら進む。

子連れの牛たち十数頭がのんびりと草を食んで、私達を眺めている中を通り抜ける。赤い布で牛を興奮させるのはスペインの闘牛場面でお馴染みであるが、牛は本当に赤いものに反応するのであろうか。赤色の傘はたたみ赤い雨具もなおしこんでいる。やはり君子危うきに近寄らずで用心するに越したことはない。

牧場東端に近づくと雨足もやや強くなり、数軒しかない集落(?)の中にあるお寺を見つけ、その隣の簡素な休憩所で雨宿りさせてもらう。この寺は真言宗の寿妙院という寺で、こんな数戸しかない所にお寺があるとは驚きであり、全く思いも寄らぬことである。

間もなく尼さんが来られ、今日は田代原トレイルセンターで生け花を習っていたが、団体さんが休憩しているとの連絡が入り急遽馳せ参じたとのこと。この休憩所は九千部登山者が利用できるようにと、雲仙市に働きかけて出来上がったものであり、団体さんでは私達が第1号らしい。13人もの団体客がよほど嬉しかったのであろう。

この尼さん23才の時大変な病気になったが、田代原に来て療養していると何か不思議な力を得られたという。自然の良い環境と相まって病気も回復した。自分の経験からここはエネルギーを持っているのではないかと考えている。今で言うパワーポイントか。



田代原はかつてはツツジも沢山あったが今は寂れている。ボランティアによるツツジの一株オーナー制度などを取り入れてツツジを増やしていけば、「奥雲仙自然村」として発展させることが出来るのではないかと。また休憩所を建ててもらった雲仙市に恩返しもできるのではないかと。と夢や目標を語る尼僧の話しに引き込まれていった。



仁田峠から登山開始・写真、中須賀氏

雨も小降りになりお茶とキャンデーをいただいた休憩所を後にする。遊歩道ではキノコを沢山収穫できた。白いキノコでシラタケだと聞きましたでしたが本当はヒラタケだったのです。塩田講師はヒラタケといったのに白いものだから皆シラタケと聞き違えたのです。年を取ると耳もおかしくなると大笑い。塩田講師の話の合間には、オヤジギャグを連発するあゆみハイキングクラブのAさんに座布団〇枚と掛け声も飛び、終始笑いの中楽しく散策でき12時30分駐車場に戻った。

(兵庫 記)

## 29日(日) 岩登りコース

去年も岩登りを希望したが雨で行けなかった。舞岳コースに入れてもらったが初めてだったのでそれはそれで良かった。しかし今年はなんとしてでも岩に登りたかった。新しいルペルソを使ってみたかった。

28日は申し分ない好天気。多分明日も大丈夫だろうと思っていたら北九州から岩登りに参加したくてやってきた田中さんが夜7時過ぎにやってきて、パラパラ雨が降ってるという。えーっ！又も雨？朝になるとやはり少し雨。

でも当日、参加者18名はとりあえず牛首岩に行ってみようということに。やはり、岩は濡れていた。しかし、リーダーの濱崎さんが安全を第一にトップロープを設置してくれてビレーを川原さんが取ってくれて確実に安全な方法で一人1回ずつ登って行った。

人が登っていると何とかかなりそんな気がするのだが、イザ登ってみるとここから先はどうやって登るの？って悩みたくなるのが岩登りである。今回もまさしくそうであった。コンパスが足りないのである。(p\_-)

しかし、久々の岩は緊張感でドキドキだったけど達成感があった。岩登りに火がついた感じである。時々オレンジで来たいなあと思いながら牛首を後にした。



今回、県連のスタッフの皆さんが周到な準備の下、にこやかで雨であっても満足したフェスタであった。前日の講演会も興味深く、又、鍋会の時もオレンジ男性軍の働きの機敏な事にも感心した。来年は諫早少年自然の家で行うのもいいかな？なんて思ったりした。

(山下 記)



10月6日(日)

## 経ヶ岳(舞岳コース)

(参加者) 川原、松岡、野中、田中(静)、白石、林(和)、山下

(7名)

(行程) 西諫早駅 8:00～大村黒木八丁駐車場 9:05～舞岳登山口 9:15～舞岳～中山と経ヶ岳の分岐～経ヶ岳頂上～下山一平谷～笹岳分岐～金泉寺～西の越～駐車場

(感想)

前日は台風の接近で実行するかどうか迷ったが当日になると晴れ渡った山日より舞岳の急登も木々の間から吹く風が心地良かった。

このコースは目印がほとんど無くトップを歩く自信は無かったが川原さんが最後を歩いてくれてアドバイスをもらいなんとか無事歩き通せた。

舞岳の頂上は何度もピークらしい尾根にあがるのでなかなか着かない感じがするし、そこから思い切り下りて又登り出すと今度は経ヶ岳の頂上もなかなか着かない感じがして皆の元気を持続してもらうのに少し苦勞した。



いつもはカメラマンのNさん。緊張！！

経ヶ岳に登ってしまうとこのまま来たルートに戻るの面白くない。さりとて金泉寺まで足を延ばすのは笹南峰のあたりが岩が濡れているだろう。西岳に行くには登りが滑りそう、で結局、笹南峰を通過して金泉寺へ。それから西の越を下りる。疲れた足にはこの下りも応えたがレイジンソウがなぐさめてくれた。アキチョウジもあちこちで咲いていて秋の風情を感じさせてくれた。

7人の侍は怪我も無く楽しく秋の経ヶ岳を堪能した。下界は猛暑だったらしい。

(山下 記)

# 本の紹介 - 季刊誌の紹介



\*夏山、沢登り、クライミング、技術、地形  
気象、自然保護など基本的な山用語 100 の  
使い方、関連語を詳しく紹介

\*著者「野村 仁」氏は「山と溪谷」誌では  
登山技術ページの編集を担当

\*ポケットサイズなので持ち歩きやすい  
\*イラストが一つ一つの項目ごとに描かれていて  
文章も分かりやすい。

\*一つの言葉から山の知識と話題が豊富になる事  
間違いない。特に岩場での用語が豊富でイラスト  
も分かりやすいのは著者が学生時代からアルパイ  
ンクライミング、沢登りなどを経験していたから  
だろうか。



\*九州で唯一の山歩き & 野遊び専門誌  
2013年 夏 創刊 (季刊誌)

\*地元密着だから情報が詳しい & 新しい。

\*くじゅう特集なので九重全体の地図がコース  
と共に詳しく描かれてるのは嬉しい。

\*夏号なので、尺岳、金山、刀剣山、宮之浦岳、  
保口岳、黒髪山、諸塚山、白鳥山などの夏に  
ふさわしいルートを紹介してある。

\*西日本新聞社発行 消費税込み 1000円

# 涌蓋山に山ガールがわいた？



鷹の巣山は岩登りの連続。  
やっと登った三ノ岳  
↓ 岩に登った、三人の男女





経ヶ岳の帰り田んぼで案山子と三角関係になったM氏

おれんじニュースNo284	
発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡正廣
編集責任者 及び 原稿送付先	山下ちず子
発行年月日	2013.10.23
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	<a href="http://orangehikingclub.com/">http://orangehikingclub.com/</a>

こんにちは。  
 11月号を編集してたらや  
 っと秋らしい気候になっ  
 てきました。だからまだ  
 まだ今月号は紅葉の写  
 真はお目につけられま  
 せん。  
 でも、最近、秋の風物  
 詩になってる黒木の案  
 山子の写真が撮れて良  
 かったです。それからN  
 氏にいつも写真を協力  
 いただいて助かってま  
 す。ありがとうございました。山下